

<p><研究課題名></p>	<p>D-1003</p>	<p>野生動物保護管理のための将来予測および意思決定支援システムの構築</p>
----------------------	---------------	---

<研究概要>

ニホンジカ、イノシシのよう農林業被害の深刻な狩猟対象動物に、普遍的に対応できるシステムを考え、都道府県の担当者や、環境省の鳥獣保護管理の人材登録制度などにより確保された人材が、有効に活用できるツールとなることを目指す。

(1) モニタリング項目と手法の開発に関する研究
 都道府県の現状をふまえ、野生動物の保護管理のために必要な現状把握や意思決定に必要な項目と調査手法を精査し決定する。現実的かつ有効なモニタリング項目と調査手法の開発を目指し、必要な作業量や予算を検討し、特定鳥獣保護管理計画に沿って継続的かつ広域的に収集可能な効果的な項目を選択する。

(2) データ分析手法の確立に関する研究
 (1)で得られたデータから都道府県の意思決定のための要因分析や将来予測を行う手法を開発する。動物種や地域的な条件によって設定を調整することで、できる限り普遍的に分析できる手法を目指し、個体数推定や個体数変動の要因分析と将来予測の手法を確立する。

(3) 意思決定支援コンテンツの開発に関する研究
 行政上の意思決定や関係者の合意形成に必要な指標や項目を検討し、意思決定や合意形成に必要な指標計算や作図手法を開発する。(2)までの分析結果から効果的な指標やレポートを作成する手法を開発する。

(4) 支援ソフトウェアパッケージの開発に関する研究
 都道府県の担当者レベルで、簡便にデータの収集、入力、指標の計算、意思決定や合意形成に向けたプレゼンテーションの作成が可能なソフトウェアパッケージを作成する。全作業をシステム化し、省労力で効果的に作業できる仕組みを作ることを目指す。具体的には、(1)の手法で収集したデータを効率的に管理するための調査フォーマットや入力フォーム、およびデータベースなどのデータ管理システムを構築する。また、(2)の手法による分析と、(3)の指標やアウトプットを、わかりやすいレイアウトで出力できるシステムを作る。

<p><研究代表者></p>	<p>坂田 宏志</p>	<p>兵庫県立大学・自然・環境科学研究所・准教授（42才）</p>
----------------------	--------------	-----------------------------------

No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	モニタリング項目と手法の開発に関する研究	○	山端 直人	三重県農業研究所・経営・植物工学研究課・主任研究員
(2)	データ分析手法の確立に関する研究	◎	坂田宏志 藤木大介 鈴木克哉	兵庫県立大学・自然・環境科学研究所 准教授 兵庫県立大学・自然・環境科学研究所 講師 兵庫県立大学・自然・環境科学研究所 助教
(3)	意思決定支援コンテンツの開発に関する研究	○	川井裕史 石塚 譲	大阪府環境農林水産総合研究所・環境研究部 主任研究員 大阪府環境農林水産総合研究所・環境研究部 主任研究員
(4)	支援ソフトウェアパッケージの開発に関する研究	○	多鹿一良 志方 泰 神田賢吾 中道護仁 足立光代	株式会社ブレイン・開発部・主任研究員 株式会社ブレイン・開発部・研究員 株式会社ブレイン・開発部・研究員 株式会社ブレイン・開発部・研究員 株式会社ブレイン・開発部・研究員